

概要

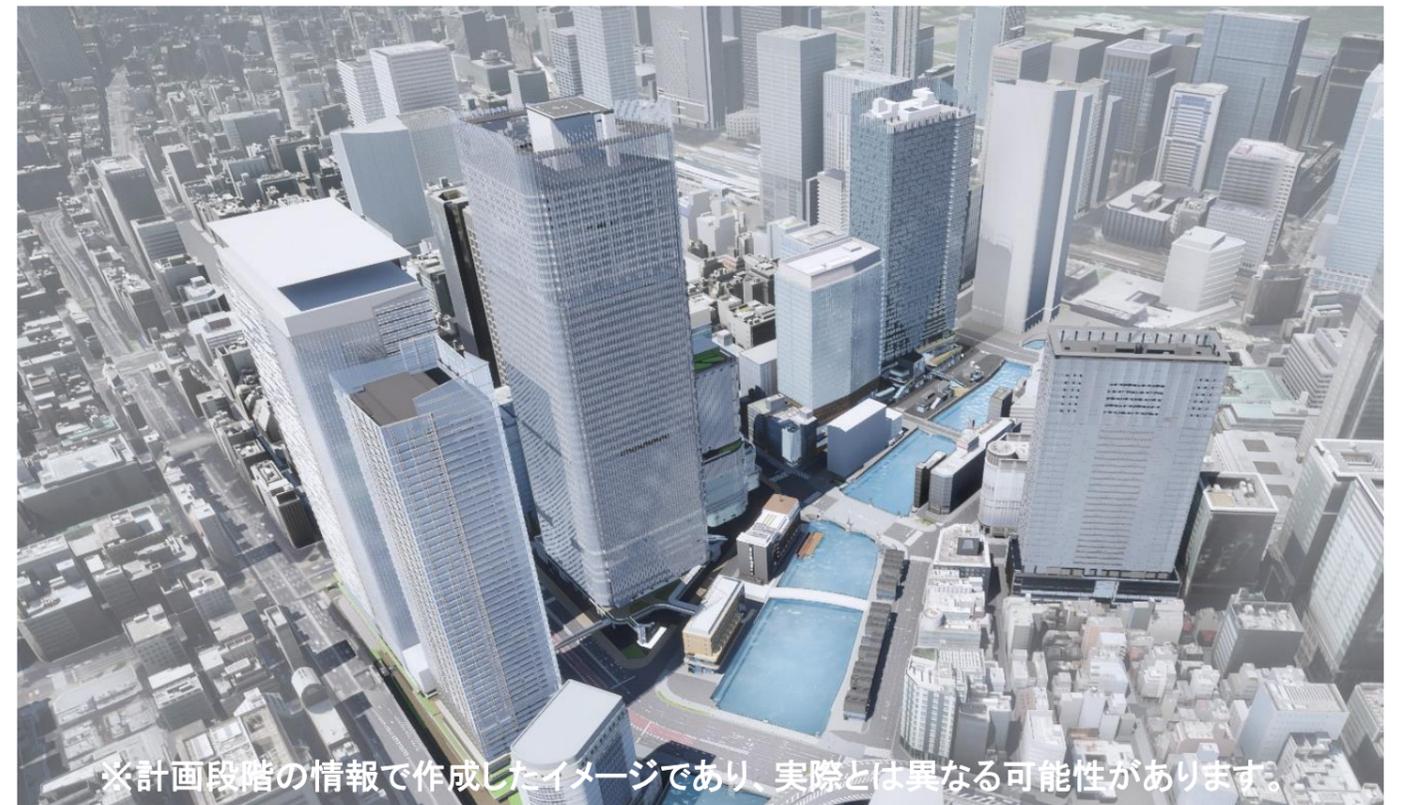
第5回水辺連絡会では、日本橋川沿いエリアの段階的な整備イメージを3D都市モデルでお示しました。

3D都市モデルについては、まちのにぎわい創出にも活用できることから、日本橋川沿いエリアの特性を踏まえた活用方策(案)を整理いたしました。

■ 日本橋川周辺の3D都市モデル(2040年代以降)



※計画段階の情報で作成したイメージであり、実際とは異なる可能性があります。



※計画段階の情報で作成したイメージであり、実際とは異なる可能性があります。

1 3D都市モデルの活用方策(案) —まちの魅力PRの活用—

3D都市モデルは、視覚的にわかりやすい動画を作成することができるため、観光地でのVR体験などに活用されています。

日本橋川沿いエリアでは、各事業が長期に渡ることから、まちのにぎわいが低下しないような取組をしていく必要があります。来街者に各事業やまちの魅力が十分に伝わるよう、3D都市モデルを活用していくことが考えられます。

日本橋川沿いにおける3D都市モデルの活用イメージ(案)

来街者に日本橋川沿いエリアの良さを感じてもらえるよう、区の3D都市モデルや首都高速道路株が作成しているメタバースなど、連絡会関係者が保有している動画を情報発信の場で同時に放映します。

放映する際には、データ管理などを適切に行う必要があるため、体制づくりについても十分な検討を行っていきます。

●中央区の3D都市モデルによる動画イメージ



●首都高速道路株がイベント等で活用しているメタバース(VR)

首都高速道路株では、高架橋を撤去した将来イメージをメタバース空間で作成し、粋だね市等のイベントでPR活動を実施している。



粋だね市(R5. 10. 29)でのVR体験の様子



メタバース空間のイメージ

2 3D都市モデルの活用方策(案) –その他活用方策–

3D都市モデルの活用方策(案)について、全国の事例を参考にその他活用方策(案)を整理しました。
日本橋川沿いエリアでの活用については、関係者間での検討を進めてまいります。

①仮囲い装飾の検討

3D都市モデル上に、仮囲いの装飾データを反映することにより、歩行者からの見え方や、まちの回遊性を踏まえた仮囲い装飾の配置などを検討することが可能です。

■仮囲い装飾の事例(参考)



中央区 日本橋一丁目中地区



福井市事例

②まちの緑化の検討

3D都市モデル上に、まちの緑化箇所を反映することで、みどりのネットワーク創出に向けた検討をすることが可能です。

■緑化の事例(参考)



天王洲 高欄の外にプランター設置



天王洲 緑に囲まれ運河を眺めてくつろぐ空間

③ライトアップの検討

3D都市モデル上に、各工事エリアのライトアップ箇所を反映することで、街中からの見え方などを検討することが可能です。

また、2040年度以降の各工事が完了した街中のライトアップ計画などの検討にも活用できます。

■ライトアップの事例(参考)



出典:東京都建設局